



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2026年(令和8年)2月5日号 No.2014

目次

■ 数字で見るロシアの原油生産と輸出	1
■ 統計速報	10
2025年1～11月のロシアの貿易 / 10	
■ トピックス	11
EU、ロシア産ガスの輸入に罰金を導入へ / 11	
NEXI、いすゞ子会社によるウズベク自動車企業買収の融資保険引受 / 11	
現代自動車、ロシア旧工場の買い戻し権を行使せず / 11	
米、対インド関税を大幅に引き下げ 対口原油輸入停止を巡り食い違いも / 11	

数字で見るロシアの原油生産と輸出

はじめに

今号では、ロシアの調査会社Tebiz Group発行「ロシアの原油市場分析」から、2024年のロシアの原油の生産・輸出動向を紹介する。ご存知のとおり、ロシアは2022年2月のウクライナ侵攻以降、エネルギー製品の生産や輸出データの公表を制限している。国際機関や各国税関当局が発表するデータとの間に多少の差はあるものの、侵攻の長期化と西側との関係対立がもたらした輸出先の変化など、資料を分析することは、ロシアの石油部門をよりの確にとらえるヒントになるはずである。

解説

2024年の1年間にロシアで生産された原油は前年比2.5%減の4億8,594万tとなった。ロシアは2022年2月のウクライナ侵攻に端を発した西側諸国による輸入制限措置以降、中国、インド、トルコなどへの輸出を増やし、生産量の維持と輸出先の確保に努めてきた。2024年の生産量は4年ぶりに前年を下回ったものの、依然として5億t弱の規模を保ち、生産・輸出大国としての地位を維持した。

ノヴァク副首相によると、2024年の原油の生産量は5億1,600万tだった。3,000万t以上の誤差の理由は不明であるが、市場環境が一変する中でも、侵攻前の生産水準を堅持することに成功した。

2025年の生産量について、ノヴァク副首相は、今年1月の雑誌寄稿の中で、5億1,200万tと前年を下回ったことを明らかにしている。

ロシア最大の原油生産地域はウラル連邦管区(主にハンティ・マンシ自治管区)で、そのほか沿ヴォルガ連邦管区(主にタタルスタン共和国とバシコルトスタン共和国)、シベリア連邦管区(主にイルクーツク州とクラスノヤルスク地方)などが上位を占める。全体の75%以上がサマトロール油田、プリオ